

のびのび



2020年度校長室だより 第11号 令和3年3月31日

湯田小学校のキャッチフレーズ：あしたも会おうね 温かい学校 ～ 学び合い ～

2020年度チャレンジ目標：湯田小ABC 合い言葉：やさしい言葉がひびきあう

令和2年度もお世話になりました

校長 伊藤 豊

3月19日、最高のコンディションの中で令和2年度の卒業証書授与式を行うことができました。本年度は、感染症対策を可能な限り施しながら、卒業生と保護者の皆様に加え、在校生代表として5年生児童、そして4名のご来賓をお迎えしての式でした。体育館内の空間を有効利用するために、対面式からステージ式に変更しましたが、事前の練習時間が確保できたおかげで、卒業生は堂々とした姿を見せることができました。私からは、式辞の中で「いのち、与えられた時間の使い方」について話しました。湯田温泉でお生まれになった日野原重明先生の『いのちの授業』からヒントをいただいた内容です。卒業生一人一人が、誰かのために自分に与えられた時間を使い、互いに思いやれる大人になってほしいと願います。



また、3月26日は音楽室から各教室に映像を生中継しながら修了式を行いました。そこでは、「やさしい言葉No.1、それは『ありがとう』という言葉だよ」という話をしました。3年前に湯田小学校に着任以来、あらゆる場面で「やさしい言葉」について語ってきました。様々なやさしい言葉をスケッチブックで紹介してきました。これは、随分と子供たちにも浸透してきたように思います。もちろん、言葉だけではなく、それが行いにも表れてきていると感じています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止を図るために、学校生活においても様々な制限がありました。その中を、湯田小の子供たちはたくましく乗り越えてきました。それは、心や唇に、やさしい言葉があったから乗り越える勇気が出たのではないかと考えています。



令和3年度がそこまでやってきています。制限がなかなか解けない部分もありますが、子供たちは、今年以上に何かを成し遂げてくれる、きっと新たな姿を見せてくれると信じています。

このたびの人事異動で、私は転勤することになりました。この3年間を振り返りますと、子供たちや保護者の皆様、湯田地区の多くの皆様に支えられてきました。また、時々教職員と湯田小学校の歴史を確かに刻むことができました。全ての皆様に心から感謝申し上げます。

やさしい言葉を口にして、自分に与えられた時間を誰かのために使いながら、これからも素晴らしい湯田小学校、湯田地区を築いていっていただきたいと思います。

3年間、ありがとうございました。

令和3年3月31日 伊藤 豊